

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
**平成30年度 大学職員情報化研究講習会**  
**～基礎講習コース～**  
開催要項

<http://www.juce.jp/kenshu/kisoko2018/>

**開催趣旨**

本協会では私立大学における職員の職務能力の開発・強化を支援するため、全学的な教育の質的転換及び教学マネジメント体制の整備に向け、職員として情報通信技術（ICT）を駆使した教育改革に主体的に関与できるよう知識理解を深めるとともに、実践力の向上を目的として研究講習を実施しています。

本コースは、参加者が、ICT活用の可能性や工夫について基礎的な理解を深め、大学の管理運営や教育活動の充実に向けて主体的に取り組む考察力の獲得を目指します。

**1. 本コースのねらい**

開催趣旨に基づき、参加者が次のような成果を修得することを目指します。

- ① ICTの活用が大学の管理運営、教育活動の充実に果たしている役割を認識する。
- ② 問題発見・解決プロセスの体験を通じて、自己の業務の改善や職場における課題解決にICTの活用を考え、提案できるようにする。

**2. 対象者**：私立大学・短期大学に所属する職員

（勤務年数の浅い方々や他業種からの転職者など当協会への加盟・非加盟は問いません）

**3. 日程**：平成30年7月4日(水) 12時45分～6日(金) 正午解散

**4. 会場**：ダイワロイヤルホテル THE HAMANAKO（静岡県浜松市西区雄踏町山崎 4396-1 ☎053-592-2222）

\* 本研修は、原則1部屋2名利用の合宿研修として全員上記ホテルへ宿泊いただきます。ただし、シングル利用の希望があれば先着30名まで受付いたします。なお、部屋割りは当方で行います。

\* 最寄り駅 JR 東海道本線「舞阪」駅（浜松駅より約5分）より送迎バスを用意しております。

**5. 募集定員**：110名（申込先着順）

**6. 申込方法**：本開催要項添付の「申込書」に記入いただき FAX または Web サイトから申込みください。締切は6月27日(水)ですが定員に余裕があれば受け付けますので問い合わせ下さい。

Web：<http://www.juce.jp/kenshu/kisoko2018/> FAX：03-3261-5473 Tel：03-3261-2798

**7. 参加費**：加盟校・・・1名につき30,000円 / 非加盟校・・・1名につき60,000円

その他に、宿泊費（2泊5食付）として30,000円を1日目受付時に直接ホテルへお支払いください。または、シングル利用の場合、宿泊費として38,000円をお支払いください。

**8. 参加費の支払い**：大学でまとめて7月2日(月)までに銀行振込によりお支払いください。

<振込先> りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金口座 口座番号：0054409

名義人：私情協 シジョウキョウ

\* お願い：振り込み名義に「k30」の記号を追記願います。

\* キャンセルの場合は6月28日(木)までにご連絡いただければ振り込み手数料を差し引いた参加費を返金します。それ以降のキャンセルは、資料代等の実費を請求します。

\* 当日のキャンセルは、ホテルのキャンセル料が100%発生しますのでご了承願います。

**9. プログラム概要**

**【事前研修】**

大学を取り巻く環境、社会が大学に求めること、ICTを活用した学修環境など、研修参加にあたり把握しておいていただきたい基礎的な情報について、本協会の Web サイト上のコンテンツで事前に学習していただきます。

**【本研修】**

第1部では、全体会において研修の心構え、大学を取り巻く環境、大学教育の質的転換の必要性と教学マネジメント体制の重要性、それらを実現するための基盤環境として情報通信技術（ICT）活用の意義などについて情報を共有し、課題認識を深めます。

第2部では、グループ討議により本研修の課題として設定したテーマについて、自らがどのように教育改革や大学改革に関与すべきか、ICTを活用した望ましい改善案の提言作りを通じて、主体的な考察力、イノベーションに取り組む姿勢の獲得を目指します。

## 第1部 全体会

### (1) イントロダクション 「主体的に取り組むための心構え」

木村 増夫 氏（上智学院理事長補佐、運営委員会委員長）

大学の経営戦略や教育活動の充実に向けて、職員が主体的に取り組むための心構えについて理解の共有を図ります。

### (2) 情報提供

#### ① 「業務革新ツールとしてのICT活用と課題」

遠藤 桂一 氏（芝浦工業大学情報システム部長）

大学の業務改革、教育改革におけるICT活用の現状を紹介し、業務を効果的・発展的に進める上で必須のICTについて、理解の共有を図り、利用にあたっての考え方を整理します。

#### ② 「情報システムの実際と課題」

牛島 裕 氏（近畿大学総合情報システム部事務部長）

クラウドやパッケージ利用など情報環境の標準化による業務の効率化、教育・研究活動の向上、情報システムのコスト低減について、背景・経緯などを紹介し、学校法人及び大学業務における情報システムの課題を確認します。

#### ③ 「データの活用と業務の改善」

齋藤 真左樹 氏（日本福祉大学常務理事、副学長）

情報システムによるデータの収集・蓄積・集計・可視化などで、心得ておくべき点を整理し、問題発見・解決に役立てるデータ活用の実際と業務改善や教育・経営支援に向けた取り組みの重要性を確認します。

#### ④ 「企画立案支援のためのIR活動に必要な基礎知識」

鎌田 浩史 氏（学校法人上智学院IR推進室）

大学経営・教育研究におけるデータの利活用について、データを取り扱う上で注意すべき点、データの特徴や性質に合わせた可視化の手法、課題抽出のためのフレームワーク思考、報告用資料作成のポイントなどについて理解の共有を図ります。

### (3) 全体討議

事前研修を含め、情報提供について理解度の確認を行った上で、ICTを活用して教育改革及び業務改革に主体的に関与することの重要性について、グループ及び全員で共有します。

## 第2部 グループ討議

### ① 討議と成果のまとめ

職員各自が果たすべき役割やそれを実現するための手段として、ICTを活用する意義・重要性について理解します。理想的な教育環境や大学運営などを実現する上での課題を見だし、その解決策にICTを効果的に活用する方法を検討・提案するプロセスの体験を通じて、職員に求められる能力開発の向上を目指します。

### ② 発表・相互評価

グループ討議の成果を発表し、グループ間での相互評価・意見交換を行い、様々な課題や解決のあり方があることを知るとともに、提案に対して多様な観点から捉えることができることを体験します。

### 【事後研修】

グループ討議の成果、本講習会に参加して獲得したこと、今後ICTをどのように業務に活かしていくか等について取りまとめたレポート（A4版1枚程度）を7月31日（火）までに提出していただきます。

提出先：kisoko2018@juce.jp

大学職員情報化研究講習会 基礎講習コース タイムスケジュール

	9:00	グループ討議	9:00	グループ討議
		適宜休憩	10:00	発表準備
		グループ討議		グループ討議
12:00	12:00	昼食	12:00	発表・相互評価
12:45	13:00	グループ討議		(解散)
		適宜休憩		
		グループ討議		
16:00		グループ討議		
16:15		成果のまとめ		
	17:30	休憩		
17:45	18:00	夕食		
18:30		ポスターセッション		
19:30	19:30			

12:00 受付

12:45 オリエンテーション  
開会挨拶  
イントロダクション

情報提供

休憩

情報提供

16:00 休憩

16:15 全体討議

グループ討議

17:45 チェックイン・休憩

18:30 夕食・懇親会

19:30 フリーディスカッション

参考：参加者の声  
平成 29 年度アンケートより抜粋

- ・ 各大学の現状を含めて、ICTに関する情報提供を聞くことができ良かった、これからは、効率化を目指して具体的な方法等の情報収集に努めたい。(20代)
- ・ 年齢・部署・立場が違うメンバーと討議することで多くにアイデアや情報を共有することができた。(30代)
- ・ 他グループの発表を聞き、様々な視点や角度から大学についての考えがあることを感じて良い刺激を受けた。(20代)
- ・ 日々変化する社会に対応するためには、より積極的なアプローチを行う必要があることに気付いた。(20代)
- ・ 地域や規模の違う大学が話し合うと面白い化学反応が起きることも実感できた。(20代)
- ・ ICT活用で自分が使いこなせる範囲は広がらないが、知れば知るほど活用の幅が広がり、業務の効率化につながると感じた。(40代)
- ・ 一番良かった点は、他大学とのつながりができたこと。(20代)
- ・ 実施前はとても長いと感じていたが、議論が深まり親交を深めていく中であっという間の三日間だった。(20代)
- ・ 問題の本質を見抜く力、なぜ問題なのか、根本にある問題は何かと掘り下げて考えることができた。(20代)
- ・ 宿泊型の研修で不安も大きかったが、グループに恵まれて良かった。(20代)
- ・ 他大学と意見交換する大切さを学んだ、このような機会があれば参加したい。(20代)